

明るく！元気に！就職活動にチャレンジを！！

経済不況の影響かごく最近の報道では、就職内定率は高校生、短期大学生共に約40%、大学生は約60%で、また、昨日は政府の「デフレ認定」の宣言があり、当分経済不況は続くよう。

先日、以前に教えた学生から、「聞いて頂きたいお話があってメールしました。」とか、「誰かに『大丈夫だよ』って言って欲しくてメールしたくなりました。」等と、就職活動中の数人からメールが入った。

偶然にも内容的にはいずれも、就職活動中での大学の先生方との個別面談に関するものであった。

学生たちは「社会に出ればこんな先生のように厳しい人がたくさんいるんだっ！」と理解しながらも、「なかなか先生に言われた言葉が心から抜けていきません。頭が痛いです。」とか、「なんでだろう…と、結構ショックでした。」のように、先生方からの言葉に少なからず精神的ダメージを受けたよう。

先生方は叱咤激励のつもりで話したものと推測するが、メールに記載されている先生方の会話の中には、「おい、おい、先生がそこまで言っちゃうと、それは先生によるパワハラとか、セクハラとか言われかねないよ！」と言いたくなるものも……。

授業終了から月日が随分経つのに自分を思い出してメールを寄越す学生よりも、誰にも話せず悶々としている学生も居るのでないかと思うと、就職希望先との選考の面接の時に、自信のなさが表情に出るのでないかと、そのことが心配（面接は、自己表現出来る大事な場！）

授業は多数の学生対象だっただけにメールの学生たちはどんな学生か顔も分からないが、メールでのやりとりの後、「阿部先生の言葉は『元気のもと』になります。この言葉を励みにして、頑張ります!!」とか、「ありがとうございました。就活、頑張ります(^o^)」などのメールが来のでちょっと安堵。

先生方もその学生の人生に責任を持てるはずもないのだから、増して就職難な時だけになおのこと、叱咤する言葉よりも元気に勇気を持って就職活動に明るく元気にチャレンジするように激励の言葉の多いアドバイスをして欲しいものである。

学生たちも、自らの人生は自らが切り開くしかないのだから、人からの批評は参考程度にあまり気にせず、自らの納得のいく道を選択するための就職活動にチャレンジして欲しいものである。